

株式会社鈴鋳工業 環境経営レポート

2022年度

(対象期間 2022年6月1日～2023年5月31日)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



目 次

1. 組織の概要・対象範囲	1 項
2. 実施体	2 項
3. 環境経営方針	3 項
4. 環境経営目標	4-1,4-2,4-3頁
5. 環境経営計画	5-1,5-2,5-3頁
6. 環境経営目標の実績	6-1,6-2,6-3頁
7. a 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7-1,7-2,7-3頁
7. b 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7-1,7-2,7-3頁
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	8-1,8-2,8-3頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等	9 頁
10. 代表者による全体評価と見直し・指示、結果報告書	10 頁
11. サステナブルCSR活動	11 頁

2023年9月11日発

1. 組織の概要、対象範囲

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社 鈴鉾工業
代表取締役社長 鈴木 爾

2) 所在地

本社大和工場 神奈川県大和市柳橋5-7-6
本社大和工場 倉庫1 神奈川県大和市柳橋5-6-2 中村工場4号室
本社大和工場 倉庫2 神奈川県大和市柳橋5-6-1 北嶋工場2号室
群馬工場 群馬県邑楽郡邑楽町石内422-4

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 鈴木 淳 TEL:046-267-1177
担当者 技術管理部課長 室宮 良典 TEL:046-267-1177
電子メール y_muromiya@suzuban.com

4) 事業活動内容

金属加工品の製造、販売

5) 事業の規模

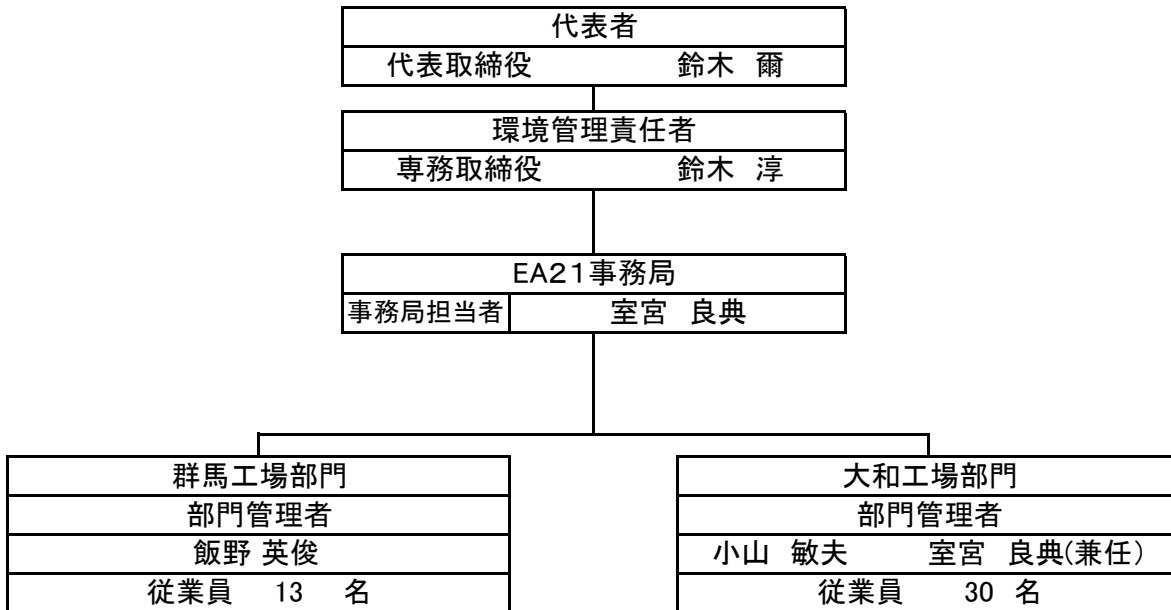
	事業年度		6月～5月			
	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	億円	5.4	4.8	4.0	4.7	5.1
従業員	人	47	43	44	41	44
延べ床面積	m ²	703.91	703.91	813.17	892.66	892.66

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4)事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2. 実施体制

環境経営システム実施体制図



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)を用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐及び部門管理者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

3. 環境経営方針



環境経営方針

〔 企業理念 〕

株式会社鈴鋳工業は、「会社は人で成る」をスローガンに掲げ、『法令遵守の責務』『顧客満足の追求』『生産性・品質・原価・納期・安全・士気・環境の優位性』『社員力量の向上』『技術力の独創性』『社会的責任遂行』を企業理念とし、この企業理念を基礎に環境経営を実行します。

〔 環境経営の指針 〕

当社は、企業理念を踏まえ、製造業として環境負荷の少ない事業活動、環境に配慮した製品提供、計画(P)・実行(D)・評価(C)・改善(A)サイクルを基本とした継続的な環境改善活動に積極的に取組み、自らが設定した数値目標を達成します。

〔 環境経営への取組の基本的方向 〕

1. 二酸化炭素排出量の削減(重点課題)
 - ① 生産設備、付帯設備機器の省エネ化により電気使用量に数値目標を定め削減に努めます。
 - ② ガソリン・軽油の使用量に数値目標を定め削減に努めます。
 - ③ その他、化石燃料使用量削減に努めます。
2. 廃棄物排出量の削減
 - ① 事業所から発生する一般廃棄物及び産業廃棄物の削減に努めます。
 - ② 資源の有効利用とリサイクルを推進します。
3. 水使用量の削減
 - ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。
4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
 - ① 製品の品質向上・効率向上に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境関連法令の遵守に努めます。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2019年1月31日

株式会社 鈴鋳工業
代表取締役 鈴木 爾

4-1. 環境経営目標

2022年度

環境経営目標設定表(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)	CO2 換算係数	年度目標								
					2022年度		2023年度		2024年度				
原単位指標			売上高(万円)		32400		32400		32400				
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.6990	0.474	3.6620		3.6250		3.5880				
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.1740	2.32	0.1723		0.1705		0.1688				
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.5990	2.58	0.5930		0.5870		0.5810				
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
0.0065	3.00		0.00644		0.00637		0.00631						
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円							
	灯油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減		
	0.0159	2.49	0.0157		0.0156		0.0154						
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円							
	合計CO2原単位(kg-CO2/万円)		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減		
	4.4944	4.4495		4.4045		4.3596							
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下							
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018~2021年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
			511.7	501.5		496.3		491.2					
			kg/年	kg/年以下		kg/年以下		kg/年以下					
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量(2018~2021年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
3,297	3,231		3,198		3,165								
	kg/年	kg/年以上		kg/年以上		kg/年以上							
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	基準値に対し	4	%削減	
		255	249.9		247.4		244.8						
		m ³ /年	m ³ /年以下		m ³ /年以下		m ³ /年以下						
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		14.2	kg/年		kg/年		kg/年						
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	基準値に対し	4	%改善	
		0.310	0.304		0.301		0.298						
		%/年	%以下		%以下		%以下						

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月～5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-2. 環境経営目標

2022年度

環境経営目標設定表(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)	CO2 換算係数	年度目標								
					2022年度		2023年度		2024年度				
	原単位指標	売上高(万円)	15925		18000		18000		18000				
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.6650	0.474	3.6284	3.5917	3.5551						
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円					
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.4770	2.32	0.4722	0.4675	0.4627						
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.4970	2.58	0.4920	0.4871	0.4821						
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
			LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
0.0070	3.00	0.00693	0.00686	0.00679									
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円									
	灯油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減		
	0	2.49	0	0	0								
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円								
	合計CO2原単位(kg-CO2/万円)		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減		
	4.6460	4.5995	4.5531	4.5066									
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下									
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018~2021年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
			1,331	1,304	1,291	1,278							
			kg/年	kg/年以下	kg/年以下	kg/年以下							
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量(2018~2021年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
4,997.5	4,897.6		4,847.6	4,797.6									
	kg/年	kg/年以上	kg/年以上	kg/年以上									
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	基準値に対し	4	%削減	
		95.0	93.1	92.2	91.2								
	m ³ /年	m ³ /年以下	m ³ /年以下	m ³ /年以下									
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		0	kg/年										
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	基準値に対し	4	%改善	
		0.310	0.304	0.301	0.298								
		%/年	%以下	%以下	%以下								

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-3. 環境経営目標

2022年度

環境経営目標設定表(全社)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)	CO2 換算係数	年度目標								
					2022年度		2023年度		2024年度				
	原単位指標	売上高(万円)	48201		50000		50000		50000				
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.6880	0.474	3.6511	3.6142	3.5774						
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.2740	2.32	0.2713	0.2685	0.2658						
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.5650	2.58	0.5594	0.5537	0.5481						
				kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
		LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
0.0067	3.00	0.00663	0.00657	0.00650									
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円									
灯油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減			
0.0106	2.49	0.0105	0.0104	0.0103									
	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円									
		合計CO2原単位(kg-CO2/万円)	4.544		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減
			4.544		4.4989	4.4534	4.4080						
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下							
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018~2021年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
			1.843	1,806	1,788	1,769							
			kg/年	kg/年以下	kg/年以下	kg/年以下							
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量(2018~2020年度平均)		2018~2021年度平均に対し	2	%削減	2018~2021年度平均に対し	3	%削減	2018~2021年度平均に対し	4	%削減
8,294	8,128		8,045	7,962									
	kg/年	kg/年以上	kg/年以上	kg/年以上									
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	基準値に対し	4	%削減	
		350	343.0	339.5	336.0								
	m ³ /年	m ³ /年以下	m ³ /年以下	m ³ /年以下									
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		14.2	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理						
	kg/年	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理							
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	基準値に対し	4	%改善	
		0.310	0.304	0.301	0.298								
	%/年	%以下	%以下	%以下									

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

5-1. 環境経営計画

2022年度

環境経営計画(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
					2022年6月～2023年5月	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①作業時間の短縮(効率的な作業)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
			②2Dレーザー加工機メンテナンス			
			③不要照明の消灯			
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)			
			⑤エアー漏れチェック			
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる			
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)		
			軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
				②エコドライブの実践(車内に掲示)		
LPG	③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →			
	④フォークリフト・トラクターメンテナンス					
灯油	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →			
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える					
CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.4495 (2022年度目標値)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)			
2	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	製造管理部 小山	(左記達成手段全て) →	
			②廃棄物の分別管理の徹底			
3	水使用量の削減		③端材材料分別の徹底	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
			④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文			
3	水使用量の削減		①節水の意識を高める	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理		①適正維持の徹底	製造管理部 小山	(左記達成手段全て) →	
			(消防法に則った保管管理)			
			②新規の購入はしない			
5	M社の不良率の削減		③期末に保管量・使用量を把握する	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →	
			①丁寧なつづし込み			
			②出口検査の根本的改善			
5	M社の不良率の削減		③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →	

5-2. 環境経営計画

2022年度

環境経営計画(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
					2022年6月～2023年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①2Dレーザー加工機・コンプレッサー→メンテナンス	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②フィルターの清掃(1/月)		
			③不要照明の消灯		
			④エア→漏れをなくす		
			⑤窒素加工用プ→スタの待機時間を削減する		
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②移動を集約し消費量の削減に努める		
			③フォークリフト・トラクター→メンテナンス		
		軽油	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
②移動を集約し消費量を削減に努める					
③フォークリフト・トラクター→メンテナンス					
LPG	①夏場の湯沸かし器の使用を控える	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →		
	②温度設定を低くする				
灯油	①灯油ストーブとエアコンの平行使用	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →		
	CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)		製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.5995 (2022年度目標値)			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面の積極的な利用	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②資源ごみの分別の徹底		
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①廃棄物の分別管理の徹底	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
②端材材料分別の徹底					
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理	①ケミラーライトは購入しない	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生 (本社大和工場)	(左記達成手段全て) →	

5-3. 環境経営計画

2022年度

環境経営計画(全工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
					2022年6月～2023年5月	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①作業時間の短縮(効率的な作業)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
			②2Dレーザー加工機・コンプレッサー→メンテナンス			
			③不要照明の消灯			
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)			
			⑤エアー漏れチェック			
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる			
			⑦フィルターの清掃(1/月)			
			⑧窒素加工用プスターの待機時間を削減する			
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)		
③フォークリフト・トラクターメンテナンス						
軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表作成)		本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
	②エコドライブの実践(車内に掲示)					
	③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)					
LPG	①湯沸かし器の点検(1F)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)			
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える					
	③温度設定を低くする					
灯油	①灯油は購入しません(使用しません) 本社大和工場	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)			
	②灯油ストーブとエアコンの平行使用 群馬工場					
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)		本社大和工場技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)	
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	4.4989 (2022年度目標値)			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)			
			③コピー用紙の裏面の積極的な利用			
			④資源ごみの分別の徹底			
産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②廃棄物の分別管理の徹底				
		③端材材料分別の徹底				
		④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文				
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底 (消防法に則った保管管理)	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②新規の購入はしない				
		③期末に保管量・使用量を把握する				
		④ケミラーライトは購入しない				
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつぶし込み	本社大和工場総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て)		
		②出口検査の根本的改善				
		③予防措置の投資				

6-1. 環境経営目標の実績

2022年度

経営環境目標の実績(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	運用期間(2022年6月~2023年5月)		
			2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)		目標	実績	評価
	原単位指標	売上高(万円)	32276		32400	32450	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1 %削減	実績	△
			3.6990		3.6620	3.8068	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.32	基準値に対し 1 %削減	実績	×
			0.1740		0.1723	0.2130	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1 %削減	実績	×
			0.5990		0.5930	0.7211	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1 %削減	実績	△	
		0.0065		0.0064	0.0067		
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年			
灯油原単位	2.49	基準値に対し 1 %削減	実績	○			
0.0159		0.0157	0				
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年					
CO2原単位(kg-CO2/万円)	4.4944		基準値に対し 1 %削減	実績	×		
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円				
CO2総量計(kg-CO2)	145065.56						
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	○
			511.7		501	203	
			kg/年		kg/年	kg/年	
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	○
3,297	3,231	2,349					
kg/年	kg/年	kg/年					
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 2 %削減	実績	×	
		255		249.9	279.0		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理	期首保管量		増減量	期末保管量	○	
		14.2		0	14.2		
%	%/3ヶ月以上	kg/年					
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 2 %改善	実績	○	
		0.310		0.304	0.170		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エネルギーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

6-2. 環境経営目標の実績

2022年度

経営環境目標の実績(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間(2022年6月~2023年5月)		
			2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)		目標	実績	評価
	原単位指標	売上高(万円)	15,925		18000	19340	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			3.6650		3.6284	3.3750	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.32	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			0.4770		0.4722	0.2790	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			0.4970		0.4920	0.2220	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1 %削減	実績	○	
		0.0070		0.0069	0.0062		
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年			
灯油原単位	2.49	基準値に対し 1 %削減	実績	○			
0		0	0				
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年					
CO2原単位 (kg-CO2/万円)	4.6460	基準値に対し 1 %削減	実績	○			
	kg-CO2/万円	4.5995	3.8820				
	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円					
CO2総量計 (kg-CO2)	73986.80						
	kg-CO3/年						
2	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	○	
		1,331		1,304	964.5		
		kg/年		kg/年	kg/年		
	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	×	
		4,997.5		4,897.6	75,590		
		kg/年		kg/年	kg/年		
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 2 %削減	実績	×	
		95.0		93.1	101.0		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理	期首保管量		増減量	期末保管量	○	
		0		0	0		
		%		%/3ヶ月以上	kg/年		
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 2 %改善	実績	○	
		0.310		0.304	0.170		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。
 ※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。
 ※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。
 ※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。
 ※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。
 ※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

6-3. 環境経営目標の実績

2022年度

経営環境目標の実績(全工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間(2022年6月~2022年5月)		
			2021年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)		目標	実績	評価
	原単位指標	売上高(万円)	48,201		50000	51790	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			3.6880		3.6511	3.6450	
			kg-CO ₂ /万円		kg-CO ₂ /万円以下	kg-CO ₂ /年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.32	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			0.2740		0.2713	0.2380	
			kg-CO ₂ /万円	kg-CO ₂ /万円以下	kg-CO ₂ /年		
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1 %削減	実績	○
			0.5650		0.5594	0.5350	
			kg-CO ₂ /万円	kg-CO ₂ /万円以下	kg-CO ₂ /年		
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1 %削減	実績	○	
		0.0067		0.0066	0.0065		
		kg-CO ₂ /万円	kg-CO ₂ /万円以下	kg-CO ₂ /年			
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	4.544		基準値に対し 1 %削減	実績	○
kg-CO ₂ /万円	4.499		4.424				
kg-CO ₂ /万円以下	kg-CO ₂ /万円						
CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	219052						
		kg-CO ₂ /年					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	○
			1,843		1,806	1,168	
			kg/年		kg/年	kg/年	
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2021年度平均に対し 2 %削減	実績	×
8,294	8,128	77,939					
kg/年	kg/年	kg/年	kg/年	kg/年			
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 2 %削減	実績	×	
		350		343.0	382.0		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理	期首保管量		増減量	期末保管量	○	
		14.2		0	14.2		
		kg/年		kg/年	kg/年		
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 2 %改善	実績	○	
		0.310		0.304	0.170		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満ではほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO₂排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

7.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (本社大和工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価				
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①作業時間の短縮(効率的な作業)	技術管理部 室宮	①～⑥でまでの項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○				
			②2Dレーザー加工機→メンテナンス							
			③不要照明の消灯							
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)							
			⑤エアー漏れチェック							
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる							
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	①と②の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○			
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)						
			軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)				技術管理部 室宮	①～④でまでの項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○
				②エコドライブの実践(車内に掲示)						
LPG	③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○						
	④フォークリフト・トラック→メンテナンス									
灯油	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○						
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える									
CO ₂ 総量計[灯油含む](kg-CO ₂)	154,060		技術管理部 室宮	CO ₂ 原単位目標の4.449に対して実績4.748と目標達成はできませんでした。	○					
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.748								
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○				
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)							
			③端材材料分別の徹底							
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	製造管理部 小山	①～④の項目を実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○				
②廃棄物の分別管理の徹底										
3	水使用量の削減	③期末に保管量・使用量を把握する	技術管理部 室宮	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○					
		④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文								
4	化学物質の適正管理	①節水の意識を高める	技術管理部 室宮	①～③の項目を実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○					
		②適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)								
		③新規の購入はしない								
5	M社の不良率の削減	③期末に保管量・使用量を把握する	総合管理部 蓬生	1年間通して目標に掲げた3項目を継続しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○					
		①丁寧なつづし込み								
		②出口検査の根本的改善								
		③予防措置の投資								

7.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (群馬工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①2Dレーザー加工機・コンプレッサー→メンテナンス	製造管理部 飯野	①～⑤までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標達成には至らず。○
			②フィルターの清掃(1/月)			
			③不要照明の消灯			
			④エア漏れをなくす			
			⑤窒素加工用プスターの待機時間を削減する			
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○
			②移動を集約し消費量を削減に努める			
			③フォークリフト・トラック→メンテナンス			
		軽油	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました。	目標達成手段を実施しましたが目標達成には至らず。○
②移動を集約し消費量を削減に努める						
③フォークリフト・トラック→メンテナンス						
LPG	①夏場の湯沸かし器の使用を控える	製造管理部 飯野	①②の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○		
	②温度設定を低くする					
灯油	①灯油ストーブとエアコンの平行使用	製造管理部 飯野	①の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○		
	CO ₂ 総量計[灯油含む](kg-CO ₂)	75,073	製造管理部 飯野	CO ₂ 原単位目標の4.599に対して実績3.882と目標達成できませんでした。	○	
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	3.882				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面の積極的な利用	製造管理部 飯野	①②までの項目について実行しました。	目標達成手段を実施しましたが目標達成には至らず。○
			②資源ごみの分別の徹底			
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①廃棄物の分別管理の徹底	製造管理部 飯野	①②までの項目について実行しました。	目標達成手段を実施しましたが目標達成には至らず。○
			②端材材料分別の徹底			
3	水使用量の削減		①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○
4	化学物質の適正管理		①ケミーライトは購入しない	製造管理部 飯野	ケミーライトは購入してません。	新規購入してません ○
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつづし込み	総合管理部 蓬生 (本社大和工場)	1年間通して目標に掲げた3項目を継続しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○
			②出口検査の根本的改善			
			③予防措置の投資			

7.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (全工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①作業時間の短縮(効率的な作業)	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～⑧までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○	
			②2Dレーザー加工機・コンプレッサ→メンテナンス				
			③不要照明の消灯				
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)				
			⑤エアー漏れチェック				
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる				
			⑦フィルターの清掃(1/月)				
			⑧窒素加工用ブースターの待機時間を削減する				
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)			
③移動を集約し消費量を削減に努める							
④フォークリフト・トラック→メンテナンス							
軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表作成)	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～⑤までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○			
	②エコドライブの実践(車内に掲示)						
	③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)						
	④フォークリフト・トラック→メンテナンス						
LPG	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○			
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える						
	③温度設定を低くする						
灯油	①灯油は購入しません(使用しません) 本社大和工場	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①の項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○			
	②灯油ストーブとエアコンの平行使用 群馬工場						
	CO ₂ 総量計[灯油含む](kg-CO ₂)	229,133	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	CO ₂ 原単位目標の4.499に対して実績4.424と目標達成	○		
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.424					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○	
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)				
③コピー用紙の裏面の積極的な利用							
④資源ごみの分別の徹底							
産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	製造管理部 小山 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○			
	②廃棄物の分別管理の徹底						
	③端材材料分別の徹底						
	④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文						
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める	営業技術部 室宮 製造管理部 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○		
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)	製造管理部 小山 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○		
②新規の購入はしない							
③期末に保管量・使用量を把握する							
④ケミラーは購入しない							
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み	総合管理部 蓬生	1年間通して目標に掲げた3項目を継続しました。	目標達成手段を実施し目標を達成した。 ○		
②出口検査の根本的改善							
③予防措置の投資							

8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画



2023年度

8-1. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(本社大和工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
						2023年6月～2024年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.7689 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用(効率的な作業) ②2Dレーザー加工機→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握) ⑤空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる ⑥エアークップリングをメガフローカップリングに変更 ⑦2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			ガソリン原単位 0.2109 kg-CO2/万円	ガソリン ①エコドライブの実践(車内に掲示) ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			軽油原単位 0.7138 kg-CO2/万円	軽油 ①新車4トントラック交換 ②スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成) ③エコドライブの実践(車内に掲示) ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			LPG原単位 0.0066 kg-CO2/万円	LPG ①湯沸かし器の点検(1F) ②夏場の湯沸かし器の使用を控える	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油 ①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円) 4.7002 (kg-CO ₂ /万円)		技術管理部 室宮	
			2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 445.5 Kg ①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)
産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 3,059 Kg ①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料を優先してネ스팅に使用 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文	製造管理部 小山			(左記達成手段全て) →	
3	水使用量の削減	水使用量 276.2 m ³	①水漏れ箇所の点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理) ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する	製造管理部 小山	(左記達成手段全て) →	
5	M社の不良率の削減	不良率 0.168 %以下	①丁寧なつづし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →	

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画



2023年度

8-2. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(群馬工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
						2023年6月～2024年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	①設備メンテナンス(2Dレーザー・ペンダー) ②フィルターの清掃(1/月) ③不要照明の消灯 ④エアリークをなくす ⑤窒素加工用プスターの待機時間を削減する	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			3.3413 kg-CO ₂ /万円			
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	ガソリン ①エコドライブの実践(車内に掲示) ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラックメンテナンス	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			0.2762 kg-CO ₂ /万円			
			軽油原単位	軽油 ①エコドライブの実践(車内に掲示) ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラックメンテナンス		
		0.2198 kg-CO ₂ /万円				
		LPG原単位	LPG ①夏場の湯沸かし器の使用を控える ②温度設定を低くする	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
0.0061 kg-CO ₂ /万円						
灯油原単位	灯油 ①灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →			
0 kg-CO ₂ /万円						
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	3.8434 (kg-CO ₂ /万円)		製造管理部 飯野	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,245 Kg	①コピー用紙の裏面の積極的な利用 ②資源ごみの分別の徹底	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 18,924.8 Kg	①廃棄物の分別管理の徹底 ②端材材料分別の徹底		
3	水使用量の削減	水使用量 100 m ³	①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理		①ケミーライトは購入しない	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
5	M社の不良率の削減	不良率 0.168 %以下		①丁寧なつぎ込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画



2023年度

8-3. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(全工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
						2023年6月～2024年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.6086 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用(効率的な作業) ②2Dレーザー加工機・コンプレッサ→メンテナンス ③不要照明の消灯 ④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握) ⑤エアー漏れをなくす ⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる ⑦フィルターの清掃(1/月) ⑧窒素加工用プスターの待機時間を削減する ⑨空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる ⑩エアーカップリングをメガフロカップリングに変更	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
			ガンソリン原単位 0.2356 kg-CO2/万円	①エコドライブの実践(車内に掲示) ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガンソリン使用量の数字の報告(現状の把握) ③フォークリフト・トラックメンテナンス ④移動を集約し消費量を削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
		化石燃料使用量の削減	軽油原単位 0.5297 kg-CO2/万円	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成) ②エコドライブの実践(車内に掲示) ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握) ④フォークリフト・トラックメンテナンス ⑤移動を集約し消費量を削減に努める ⑥新車4トントラック交換	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
		LPG原単位 0.0064 kg-CO2/万円	①湯沸かし器の点検(1F) ②夏場の湯沸かし器の使用を控える ③温度設定を低くする	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
		灯油原単位 0 kg-CO2/万円	①灯油は購入しません(使用しません) 本社大和工場 ②灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
		CO2原単位 (kg-CO2/万円)	4.380 (kg-CO2)		本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	
		2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,691 Kg	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。) ③コピー用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底
産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 10,992 Kg			①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ⑤端材材料を優先してネスティングに使用	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
3	水使用量の削減	水使用量 378.2 m ³	①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検(1週間1回)	本社大和工場技術管理部 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理) ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミライトは購入しない	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
5	M社の不良率の削減	不良率 0.168 %以下	①丁寧なつづし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	本社大和工場総合管理部 蓮生	(左記達成手段全て)	

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2023.9.4	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処理)	2023.9.4	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2023.9.4	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)	2023.9.4	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2023.9.4	○
	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)	2023.9.4	○
騒音・振動	騒音規制法	2023.9.4	○
	振動規制法	2023.9.4	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	2023.9.4	○
	群馬県的生活環境を保全する条例	2023.9.4	○
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(本社工場のみ対象)	2023.9.4	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2023.9.4	○
	自動車Nox・PM法(排ガス抑制法)	2023.9.4	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	2023.9.4	○
水質汚濁	浄化槽法(群馬工場のみ対象)	2023.9.4	○
労働者の安全と健康の確保	労働安全衛生法	2023.9.4	○
	特定化学物質障害予防法	2023.9.4	○

当社に關係する環境関連法規等は上記の通りです。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し 結果報告書



見直し実施日	2023年8月2日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)		
見直し対象期間	2022年 6月 1日 ~ 2023年 5月 31日		
出席者	社長・小山課長・飯野課長・和田課長・室宮	場所 群馬工場 2F モニター画面前テーブル	
前回の見直し記録より指示への取組結果	2022年度は2021年度を評価の基準として臨みました。二酸化炭素排出原単位を評価の対象にして(二酸化炭素排出量は指標)、1%を評価目標に掲げました。全社の二酸化炭素排出原単位項目の電力原単位・ガソリン原単位・軽油原単位・LPG原単位・灯油原単位は全て目標を達成しました。廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準とし、基準の2%の削減で臨みましたが、産業廃棄物排出量は管理していた約70トンの樹脂型の消却がありまして大幅に目標値からかけ離れた。水使用量は本社大和工場の上水の水道管からの水漏れ事故があった関係で目標値の2021年度の基準値に対しての2%を割り込みました。		
見直しに必要な情報	①原単位の資料【原単位とは?】 ②2022年度 環境経営目標の実績[全社・本社大和工場・群馬工場] ③2022年度 環境経営目標及び環境経営計画書(兼 実績・評価表)[全社・本社大和工場・群馬工場] ④2023年度 環境経営目標設定表[全社・本社大和工場・群馬工場] ⑤2023年度 環境経営計画[全社・本社大和工場・群馬工場]		
代表者による評価	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①~⑤等を踏まえて評価)		
	2021年度の二酸化炭素排出原単位(4.5446kg-CO2/万円)に対し2022年度の実績二酸化炭素排出原単位4.424kg-CO2/万円で2.6%の削減。売上げは2021年度(48201万円)に対して2022年度(51790万円)は約7%の増加となり、二酸化炭素排出量は4.6%増加していますが、売上げが増えたので効率面から評価しますと良い結果と判断しますので、システムは有効に機能しています。		
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(③等を踏まえて評価)		
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況
	二酸化炭素排出の削減	○	○
	廃棄物排出量の削減	×	○
水使用量の削減	×	○	
化学物質使用量の削減	○	○	
M社の不良率の削減	○	○	
【環境経営方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 現在の環境経営方針を維持する。			
代表者による見直し	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無		
	環境経営目標は基準値を2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)とし、基準値に対して1%の削減で臨みます。廃棄物排出量の削減は2018~2022年度の平均の1%の削減で望みます。		
	【実施体制】 変更の必要性 : <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無		
	群馬工場の関口新悟をメンバーから外し、本社大和工場に和田誠文と深谷悠人を新たにメンバーに加える。		
変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営システム】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無		
	現在の環境経営システムを維持する。		
【総括】(環境活動レポートに転記)			
全従業員教育はPowerPointで教育資料を作成して、「海洋プラスチックゴミ問題」について世界的な目線で数字・グラフ・写真を交えて説明し勉強しました。(約50分の講義)環境経営目標の実績は群馬工場の評価が良く産業廃棄物排出量と水使用量以外は目標を達成しました。原単位評価は全て良い評価でした。			

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
 ②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。
 ③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。



鈴 鋳 工 業



本資料におけるイラストエコアクションが及びSDGに該当するロイイメージを許可及び専売や複製は株式会社鈴鋳工業に特許します。

持続可能な 企業の社会的責任
サステナブルCSR活動



株式会社鈴鋳工業

改1: 2022.03.10
総管理部
部長統括: 蓬生 幸広



サステナブルCSRの本質

企業と社会の「**持続的相乗発展**」を目指す上で欠かせない概念

環境を考えずして、「企業と社会と経済」は成り立たず

① BCM(Business Continuity Management)の根幹



あらゆる状況下においても事業継続可能な、
事業継続管理(BCM)、事業継続計画(BCP)の礎

② 会社の**存在意義**



「社会課題の解決」と「価格競争に終始しないビジネス」の共有

③ コンプライアンスに基づく「**自主的**」な取り組み



法令遵守を基盤にした自発性ある姿勢

④ 『モノ』作りから、『**コト**』作りへの変革



飽和した「モノ」による合理的概念(安価、性能主義、機能過多)
に捕らわれず、環境問題改善を念頭に置いた、「コト」による
情緒的概念(使いやすい、カッコいい、人や環境にやさしい、
心の豊かさ)への変革を



SDGs

『誰一人取り残さない』
『17の目標は全て連動している』

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



17の目標 169のターゲット

国連サミットで採択され、
2016年～2030年までの15年間で17の目標達成を掲げた活動



当社の10ゴールズ 17ターゲット



「アウトソース先への適正価格」
「透明な社風による利益還元体制」



「あらゆる感染症対策の徹底」
「道路交通事故の撲滅体制」



「社内の技能講習など受講推進」
「外部の技能講習など受講推進」



「ハラスメント撲滅の体制」
「全ての差別根絶と間接支援」



「上下水道の環境整備」
「節水意識の向上運動」



「同一労働同一賃金の体制構築」
「紛争鉱物問題に対する宣言」



「外国人研修生及び労働者の能力強化など機会均等」



「含有危険物質及び高懸念物質などに対する管理体制強化」



「事業継続管理(BCM)構築」
「エコアクション21 CN※活動」
※CN...カーボンニュートラル



「全暴力の撲滅」
「汚職・収賄を無くした公正取引」



10ゴールズ 17ターゲット〔詳細〕

1 貧困をなくそう



1.2

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

【鉛板工業 ターゲット】

アウトソース先への価格設定において、材料費の変動、社会情勢の移り変わりや時代背景要求に合わせた見直しに応じ、安さ選定だけに固執しない取引を実現する。

1.3

【デフォルト ターゲット】

各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。

【鉛板工業 ターゲット】

全従業員に対する適正な雇用条件や福利厚生の整備、透明な社風による利益還元の実現を推進することで、貧困の撲滅を目指す。

3 すべての人に健康と福祉を



3.3

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。

【鉛板工業 ターゲット】

コロナなどの感染症対策(出勤時の検温記入、濃厚接触者含む罹患時の情報共有、検査キットの配布、ソーシャルディスタンスなど)を推進する。

3.6

【デフォルト ターゲット】

2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

【鉛板工業 ターゲット】

全従業員に対し、通勤時及び私生活時の交通安全意識向上を図り、交通事故による会社並びに個人の損失を教示することで、道路交通事故の撲滅を目指す。(通勤手段の加入保険把握なども実施)



10ゴールズ 17ターゲット



4.4

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

【鉛板工業 ターゲット】

全従業員に対し、社内外の技能講習及び技能実習の受講推進、OJTによる技能訓練、また、資格取得及び労働安全衛生教育の促進を目指す。



5.1

【デフォルト ターゲット】

あらゆる場所における全ての女性及び女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。

【鉛板工業 ターゲット】

ハラスメント防止の「告知宣言」による相談窓口設置及びホームページ上での告知宣言公開を行い、セクシャルハラスメントを含む全ハラスメント撲滅を目指す。

5.c

【デフォルト ターゲット】

ジェンダー平等の促進、並びに全ての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。

【鉛板工業 ターゲット】

GLBTQなど、あらゆる差別を根絶し、均等に就業及び評価機会を与え、過度に意識をせず自然体で就業できる社風作りを推進する。また、社内名刺には「バナナペーパー」を採用することで、当該国の女性労働者及び子供たちへの生活支援に微力なりとも参画する。



8.8 と連動

【デフォルト ターゲット】

移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。



Banana
&
Planet



【バナナペーパー】 ※ 株式会社山櫻 様製

アフリカ ザンビア国に住む女性たちが、バナナの茎の繊維に含まれる水分を除去し、乾燥させて和紙を生産しています。これにより得た収入で子供や女性の「教育・健康支援」に充てられています。



10ゴールズ 17ターゲット



6.2

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。

【鉛鋳工業 ターゲット】

社内における水洗トイレの設置及び上下水道の環境整備並びに女性専用トイレの設置を推進する。

6.4

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

【鉛鋳工業 ターゲット】

生産汚水のを安全な排水及び社内にて使用する水資源に対する節水意識向上により、水利用効率の大幅改善を目指す。



8.5

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

【鉛鋳工業 ターゲット】

正規雇用労働者及び非正規雇用労働者の分け隔てなく、「同一労働同一賃金」のシステム化を推進し、働きがいのある職場を構築する。

8.7

【デフォルト ターゲット】

強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。

【鉛鋳工業 ターゲット】

紛争鉱物3TG(錫:tin、タンタル:tantalum、タングステン:tungsten、金:gold)の調達経路を断ち、紛争国の深刻な人権侵害、強制労働に加担しないことを目指す。また対応方針をホームページ上に掲載することで広く宣言告知を実施する。



10ゴールズ 17ターゲット

10 人や国の不平等をなくそう



10.2

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

【鈴鋳工業 ターゲット】

外国人研修生及び外国籍労働者の雇用を行い、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教問わず、能力強化の教育訓練を実施する。

12 つくる責任 つかう責任



12.4

【デフォルト ターゲット】

2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

【鈴鋳工業 ターゲット】

製品含有化合物管理、禁止物質管理、化学物質管理の体制構築を行い、高懸念物質の撤廃をシステム化することで、人の健康や環境への悪影響を最小限にする。

13 気候変動に具体的な対策を



13.1

【デフォルト ターゲット】

全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

【鈴鋳工業 ターゲット】

事業継続管理（BCM）の体制を強化するべく、事業継続計画（BCP）のガイドラインを作成し、「あらゆる有事」に備える強固な基盤を構築する。

13.3

【デフォルト ターゲット】

気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

【鈴鋳工業 ターゲット】

環境省「エコアクション21」の認証継続により、カーボンオフセットからのカーボンニュートラル意識を社内に浸透させ、「今できることから」をスローガンに改善活動に取り組む。



7.3 と運動

【デフォルト ターゲット】

2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。



10ゴールズ 17ターゲット

16 平和と公正を
すべての人に



16.1

【デフォルト ターゲット】

あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

【鉛板工業 ターゲット】

ハラスメント防止の「告知宣言」による相談窓口設置及びホームページ上での告知宣言公開を行い、パワーハラスメントを含む全ハラスメント及び全暴力の撲滅を目指す。

16.5

【デフォルト ターゲット】

あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。

【鉛板工業 ターゲット】

公正取引を念頭に置き、政治的、社会的及びその他の背景の如何に関わらず、汚職・収賄の大幅減少を目指す。受ける側、与える側の双方に加担しない社風を構築する。

経済
(枝葉)

社会
(幹)

環境
(根)

